

佐渡 羽茂の郷土誌（広報はもち「あった」改題） 羽茂郷土叢書第四集

編 集：羽茂町史編さん室

発 行：羽茂町教育委員会

発行日：平成9年3月31日

旧道づたい

①小泊にあった木食の書 ②気比神社は上山田の丸山に ③俳諧のジャンボ額 ④三〇〇
年前まであった草苅村

⑤福岡長慶の大黒天 ⑥仏田の観音さんと亀に乗った観音さん ⑦大崎の
チョボクリ

⑧吉田道海和尚の遺稿集 ⑨御城米破船目録 ⑩十王堂の閻魔大王 ⑪鉄と塩
取りの素浜文化

⑫小泊の平家伝説 ⑬滝平・大崎の少年夜学会と伊達喜太郎 ⑭十戸の
村の能舞台

⑮古文書から見た町の移り変わり ⑯明治の敬老会（尚齒会） ⑰源道家
の串柿の大福帳

⑱忘れられた道の道祖神 ⑲椿の風物詩 ⑳弾正橋と海老名一族

村ざかい

21 草苅神社の棚競りは祇園祭り 22 鹿島信仰の跡 23 原土佐守の手形とぐみが尾 24 見
事な金蔵のノミ跡

25 富山市長慶寺の五百羅漢 26 葛西磯山その生涯 27 敬
神道場の中山博道の大額

28 葛西周禎の発想「積善社」 29 素浜の切り取りと移り変わり 30 ミ
シハセ人の漂着と羽茂

31 幕末の家屋新築附留帳 32 羽茂川洪水記 33 羽茂小学校の前身「暇修庵舎」
34 古文書と苦しかった庶民生活 35 海老名保作翁の「翠堂文庫」 36 享

和の大地震と打撃
37 氏江元彦と千齒稲扱 38 善兵衛騒動とその周辺 39 「道中記」に見る庶民生活 40 相
川街道沿道村々の負担

石工のさと

41 天変地変の書き留め帳 42 弘仁寺薬師堂再建一件 43 寛延事件と大石の塩畑 44
古くて大村だった滝平

45 小泊と小泊新谷 46 羽茂平野の古代耕地整理 47 古代郡役所（郡衙）跡はいず
こ 48 郡衙への道

49 小泊窯跡群 50 素浜の製塩遺跡 51 小泊の双体道祖神

52 土地に刻まれた歴史

53 清土岡の平城と寓城 54 羽茂本間時代の町づくり 55 古代の役所と耕地（須川遺跡と
条里跡）

56 海を越えた”小泊の須恵器“ 57 草苅田と草苅村 58 草苅村と草苅組 59 開拓
の村から地域の村へ

60 古い神社の原点・神々の宿る山

れんじ窓

- 61 羽茂郷だけに残る“つぶろさし”考 62 その二 63 幻の町屋敷解明 64 仏像が語る
室町期の羽茂郷
- 65 史料収集の功労者たち 66 羽茂でとれた“金” 67 預けられて天
寿を全うした母君
- 68 町誌第二巻と肅慎の隈論争 69 羽茂郡の一七五五年間 70 羽茂町誌、次
は苦難の江戸時代編
- 71 奉行所から見た羽茂 72 寛延事件、佐渡の眠りを覚ます 73 明和事件は
重年貢への反抗
- 74 天保騒動の義民善兵衛 75 多かった幕末の歌人・俳人 76 文化財が語る
羽茂本間氏の歴代
- 77 江戸時代の「忌みの日の事」 78 「田島江」を探る 79 羽茂川の源
流蛇ノ河内
- 80 大峰道と野田山道
山里ぐらし
- 81 野崎鼻は道路史料館 82 信仰の十字路“瀬野尾道” 83 三峰講のルーツ 84 今も残る
日本廻国供養塔
- 85 一番多い真言供養塔 86 元禄の地藏堂と観音堂 87 羽茂番匠の
ルーツ
- 88 「かじや」と「こうや」技術者の定着 89 羽茂の剣術一波流の巻物 90 幕末の若き
蘭方医たち
- 91 丹下左膳の作者長谷川海太郎の学籍簿発見 92 但馬江は西三川砂金山用水 93 二つの
語り伝え
- 94 アユの石焼きと元彦とウルカ 95 赤岩の上ノ山番匠 96 羽茂の地名ー羽持・
葉持・羽茂地・羽茂
- 97 張弓神社と高家郷 98 正月行事とトウド 99 弟子たちの羽茂イネコキ 100 「あった」
一〇〇号の語りかけ